

北海道大学病院 消化器外科Ⅱに通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 膵癌切除後肺転移の臨床病理組織学的特徴に関する後ろ向き観察研究

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 寶金 清博

[研究責任者名・所属] 平野 聡（消化器外科Ⅱ・教授）

[研究代表機関名・研究代表者名・所属]

横浜市立大学医学部 消化器・腫瘍外科学 教授 遠藤 格

[共同研究機関名・研究責任者名]

日本肝胆膵外科学会高度技能専門医制度認定修練施設 63 施設による共同研究

[研究の目的] 切除膵癌の患者さんの診療情報から、肺再発形式を明らかにするため。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

膵癌の患者さんで、2010年1月1日以降、2014年12月31日までに膵切除術を受けている方のうち、術後肺転移再発をきたした方および肺転移以外の遠隔転移再発（肝、腹膜、脳、骨）をきたした方

○利用するカルテ情報

年齢、性別、BMI、ASA score、併存疾患（糖尿病、膵炎）、原発巣術前腫瘍マーカー（CEA、CA19-9、DUPAN2、SPAN1）、他臓器再発部位、術前化学療法の有無、術前放射線治療の有無、膵癌切除術式、原発巣病理組織学的所見、術後合併症、術後補助化学療法の有無（開始時期、投与期間、レジメ）、再発までの期間（膵癌切除後無再発生存期間）、発見時腫瘍マーカー（CEA、CA19-9、DUPAN2、SPAN1）、転移巣の大きさ（最大腫瘍径）、転移巣の数、両葉あるいは片葉、肺門リンパ節転移の有無、再発後生存期間、手術時期（膵癌原発巣切除からの期間）、術式（開胸、胸腔鏡下、切除範囲、リンパ節郭清の有無）、手術時間、出血量、術後合併症の有無、死亡率、在院日数、肺転移巣の病理組織学的所見、術後補助化学療法の有無（使用薬剤・投与期間）。

この研究は、当院及び日本肝胆膵外科学会高度技能専門医制度認定修練施設 63 施設の患者さんの治療を行っている機関で実施します。上記のカルテ情報は、切除膵癌の肺再発形式の解析のために、横浜市立大学に、電子的配信で送付します。

[研究実施期間] 実施許可日～2021年5月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

\*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院消化器外科Ⅱ 担当医師 中村 透

電話 011-716-7714 FAX 011-716-7158